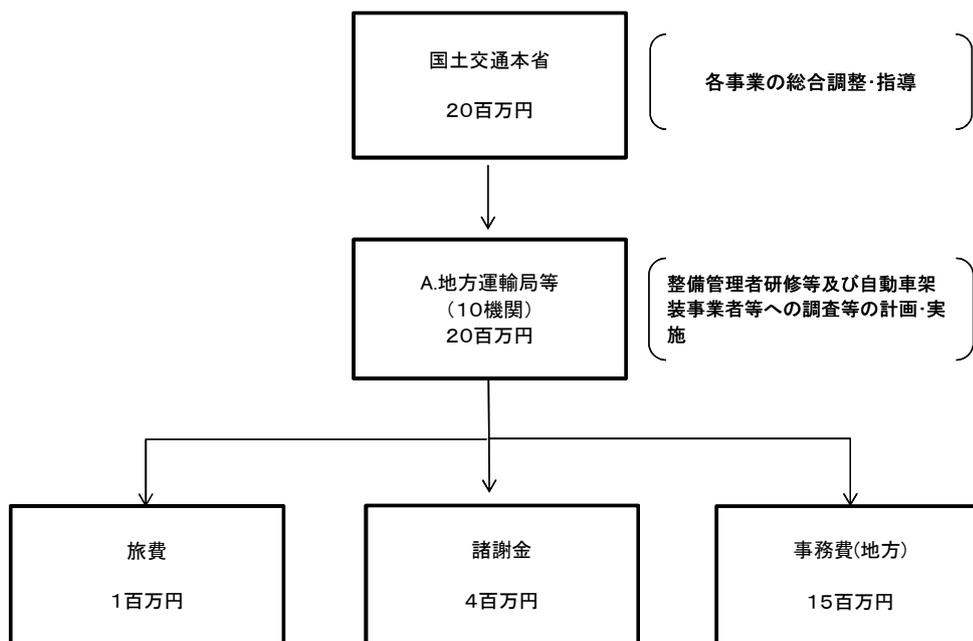


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	自動車保安対策		担当部局庁	自動車局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和41年度～		担当課室	整備課 安全政策課		課長 江坂 行弘 課長 下野 元也	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、 ハイジャック・航空機テロ防止を推進する。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路運送車両法第50条第1項、 第54条の3第1項、 貨物自動車運送事業法第17条第3項、 道路運送法第27条第1項 等		関係する計画、 通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	整備管理者等に対する研修や事業者への実態調査等により、自動車の安全確保・環境保全、事業用自動車の事故の削減を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	整備管理者に対する安全に係る関係法令、近年の事故事例、自動車技術の進歩等の車両の適切な保守管理を行うため必要な知識を取得させるための研修等を実施。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	32	31	29	32	29
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
	計		32	31	29	32	29
	執行額		19	22	20	—	—
執行率 (%)		59.1%	69.9%	68.9%	—	—	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	①事業用自動車 が第1当事者の 交通事故にお ける死者数 ②事業用自動車 が第1当事者の 交通事故にお ける人身事故 件数 ③事業用自動車 による飲酒運 転に係る道路 交通法違反取 締件数 ※初期値:①513 人(20年)、② 56,295人(20 年)、③287人 (20年)	成果実績		①490 ②51,061 ③177	①447 ②49,080 ③151	①466 ②45,346 ③121	①380 ②43,000 ③0
		達成度	%	①17 ②39 ③38	①50 ②54 ③47	①35 ②82 ③58	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	整備管理者研修等実施回数		活動実績 (当初見込 み)	784 (800)	759 (800)	799 (800)	— (800)
単位当たり コスト	(0.024百万円/回)		算出根拠	整備管理者研修等1回実施あたりの必要コスト (平成24年度研修関係予算:19百万円、実施回数:799回)			
平成25・26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	4	4	「整備管理者研修のあり方検討」事業を廃止したため。			
	職員旅費	5	6				
	公共交通等安全対策調査費	23	20				
計	32	29					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民の安全・安心を確保する観点から、自動車の安全確保、事故の削減等を図るための事業であり、国が実施すべき事業。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	研修の実施状況等を勘案しながら、十分に精査し、必要なものに限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本研修の受講は法令で義務づけられており、整備管理者として必要な車両の保守管理を行うための知識を習得させている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本研修の受講は法令で義務付けられたものであり、本省では研修実施回数等を業務量報告として徴収し、また年間執行見込み額を調査して研修実施状況等を勘案しながら十分に精査した上で限られた予算の範囲で効率的な研修の実施に努めている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業抜本的改善	研修内容の充実について、所定の成果を得たことから整備管理者研修のあり方検討は平成25年度で廃止すべき。その他の事業については引き続き、効果的、効率的な実施を図ること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	研修内容の充実について、所定の成果を得たことから整備管理者研修のあり方検討は平成25年度で廃止する。その他の事業については引き続き、効果的、効率的な実施を図る。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	309	平成23年	0287	平成24年	0295

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 関東運輸局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	公共交通等安全対策調査費	5			
旅費	職員旅費	1			
諸謝金	諸謝金	0			
計		6	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東運輸局	整備管理者研修等及び自動車架装事業者等への調査等の計画・実施	6	—	—
2	中部運輸局	〃	3	—	—
3	九州運輸局	〃	3	—	—
4	東北運輸局	〃	2	—	—
5	北陸信越運輸局	〃	2	—	—
6	近畿運輸局	〃	1	—	—
7	中国運輸局	〃	1	—	—
8	北海道運輸局	〃	1	—	—
9	四国運輸局	〃	1	—	—
10	神戸運輸監理部	〃	0	—	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—